

本 会 記 事

平成 28 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 28 年 9 月 5 日（月）15 時～16 時

場 所：東京大学農学部 3 号館 4 階 大会議室

出席者：

三輪睿太郎会長，會田勝美副会長，西澤直子副会長，峯洋子（園芸），矢部和弘（シス農），北田紀久雄（実農（代）），松下範久（樹医），中嶋正敏（植調（代）），大貫靖浩（森立），有村慎一（育種），伏信進矢（応糖科），日本典秀（応動昆（代）），矢沢勇樹（海水），太田能之（家禽），松村一善（砂丘），青木直大（作物），勝間 進（蚕糸），嶺田拓也（雑草），金井克晃（獣医），前島健作（植病），堀 靖人（森林），横山 博（水産（代）），塩出大輔（水工），大黒俊哉（造園），山内啓太郎（畜産），大塚重人（土肥），小原廣幸（熱農），石郷岡康史（気象），宮武恭一（経営），品川 優（農経），野尻秀昭（農化），森山裕充（農薬），杉浦幸二（繁殖），菊池宏之（フード），大倉利明（ペドロ），齋藤継之（木材），牧野義雄（農食工/生環（代）），荒木徹也（農施），中村典裕（農情），吉田修一郎（農木工），橋本 禅（農村計），大石卓史（林経），黒住圭子（事務担当）

欠席者：

吉本 敦（森計），山田隆一（国地開），高橋輝昌（芝草），石川尚人（草地），野村こう（動遺育），横山 正（土微），野口良造（農作），青木謙治（木加工），井上雅文（木質）

議長：三輪会長

進行：牧野庶務担当常任委員

議事：

1. 平成 28 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 平成 28 年度（第 87 回）日本農学会大会の報告
3. 平成 28 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
4. 平成 29 年度日本農学会賞受賞候補者の推薦および平成 29 年度日本農学会評議員会について
5. 日本農学会法人化アンケート結果，検討事項について
6. 平成 29 年シンポジウムテーマについて
7. 平成 29 年度常任委員担当学会について
8. その他（日本農学会ホームページリニューアルについて，会議日程）

配布資料

1. 平成 28 年度第 1 回運営委員会議事録（案）
2. 平成 28 年度第 87 回日本農学会大会概要報告

3. 平成 28 年度日本農学会シンポジウムプログラム
4. 平成 28 年度日本農学会シンポジウム案内（配布用）
5. 平成 28 年度日本農学会シンポジウムポスター配布内訳
6. 平成 28 年度日本農学会シンポジウム成果概要出版目次
7. 平成 27 年度シンポジウム成果概要出版「国際土壌年 2015 と農学研究—社会と命と環境をつなぐ—」チラシ
8. 平成 29 年度日本農学会賞推薦依頼・推薦書類一式
9. 平成 29 年度評議員会開催案内
10. 日本農学会法人化アンケート集計結果
11. 法人化検討委員会検討事項（定款案等）
12. 平成 29 年度常任委員割当て表
13. 日本農学会評議員・運営委員一覧
14. 平成 29 年度シンポジウム開催とテーマについて
15. 平成 28 年度シンポジウムポスター

三輪会長挨拶：

議題に先立ち，三輪会長から日本農学会大会について簡単な報告，お礼があった。また，今日の主な議題として，10 月 8 日のシンポジウム，29 年度のシンポジウムテーマ，日本農学会法人化についての説明があり，会議進行についての協力のお願いがあった。

議事 1. 平成 28 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成 28 年度（第 87 回）日本農学会大会の報告

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

議事 3. 平成 28 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について

牧野庶務担当常任委員より，シンポジウム関係の資料について訂正部分の説明があった。

シンポジウムプログラム，広報活動等の報告があり，シンポジウムへの参加，周知のお願いがあった。また，資料に基づきシンポジウム概要出版書について説明があり了承された。

議事 4. 平成 29 年度日本農学会賞受賞候補者の推薦および平成 29 年度日本農学会評議員会について

牧野庶務担当常任委員より，資料に基づき説明があった。積極的に候補者をご推薦いただくよう依頼があった。評議員会は来年 1 月 20 日に開催される旨報告があった。

議事 5. 日本農学会法人化アンケート結果，検討事項について
三輪会長から法人化を検討するに至った経緯の説明が

あった。日本農学会が学協会の集合体であるため、形態としては一般社団法人を念頭に置いている旨、法人化については拙速な進め方は避け、運営委員会、評議員会で十分な議論をして進めていきたい旨お話があった。

會田副会長より資料に基づき検討経緯、アンケート集計、法人化のポイントなどについて説明があった。その後、運営委員から以下の質問があり、會田副会長より回答があった。

- ・法人の社員は学協会なのか学協会代表者なのか：学協会が社員となる（学協会が法人でも任意団体でも問題ない）。
- ・学協会の法人化を促すことになるのか：そのような意図はない。加盟学協会を法人化状況により区別することもできない。
- ・（財）農学会との関係は今後どうなるのか：加盟学協会の意向による。

三輪会長より、今後は法人格がある学協会、法人化を申請中の学協会（日本応用動物昆虫学会、植物化学調節学会が今後法人化を予定している旨、報告があった）の方に加わっていただき検討を進めていきたい。別途メールで依頼する旨お願いがあった。

また、実務を進めていくが、随時メール等で報告、12月の運営委員会で報告、議論、評議員会で議題として審議していただくと、何重にも審議いただく機会を設ける旨説明

があり了承された。

議事 6. 平成 29 年シンポジウムテーマについて

松村企画担当常任委員より、3学会からのテーマの提案内容が紹介された。それらを参考に常任委員会で検討し、「今、農・食の生産をおびやかす地球規模の環境変化に農学がどう立ち向かうか」（仮題）となった旨、説明があった。今後はメールでトピックスの依頼をするのでご協力をお願いしたい。29年度のシンポジウムは10月14日（土）開催で進める旨報告があった。

議事 7. 平成 29 年度常任委員担当学会について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき、日本作物学会、日本農業経済学会、日本木材学会が新たに担当になる旨説明があった。

議事 8. その他

- ・日本農学会ホームページリニューアルについて

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき、日本農学会ホームページのリニューアル版が暫定的にアップロードされている旨報告があった。閲覧していただき、ご意見、ご要望を出して下さるようお願いがあった。

- ・会議日程：第3回運営委員会 12月12日（月）15時～、平成29年度評議員会 1月20日（金）